

知ってほしい、薬と薬剤師の仕事

第1回…お薬手帳、上手に活用しませんか？

「お薬手帳はお持ちですか」。薬局に処方せんを持って行く時、薬剤師がいつも確認するのはなぜでしょう。それは患者さんにお薬手帳を活用していただきたくからです。

【上手に医療を受けるためにも】

普段使っている薬の名前や用量などは覚えていますか？何種類も使っている場合、すべての薬の名前やその量などを正確に覚えているのは大変です。薬を使う場合には、重複や飲み合わせ（相互作用）に問題がないよう十分注意しなければなりません。医療

また、薬を使って

いて気になったことや医師や薬剤師に質問したいことなどがあれば、その内容をお薬手帳に記入しておくこと、次回診察時や調剤時に忘れずに確認することもできます。

にも】

たとえば外出先や旅行先で具合が悪くなった場合でも、お薬手帳を携帯していれば、初めて受診する医療機関や利用する薬局でも、医師や薬剤師に現在使用中の薬の情報などを間違えることなく伝えることができるので、安心です。

者の方は、使用する薬の種類も多くなる傾向があり、飲み合わせに十分な注意が必要です。また、小さなお子さんの場合は、体重増減や卵などの食物アレルギーの情報も薬を使用する際に必要になります。日々の体調変化を記録する健康管理のツールとしても活用できます。

最近ではスマートフォン対応の電子版お薬手帳も増えてい

す。医療機関や薬局にあまりかかるといけない方も、お薬手帳を1冊にまとめて上手に活用してみませんか？

詳しくは、お近くの薬局の薬剤師に相談してみてください。

【いざという緊急時



東京都新宿区

四谷3-3-1

（公）日本薬剤師会

<http://www.nichiya>

ku.or.jp/